

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人唐津 Switch

1. 事業の成果

現在私たち特定非営利活動法人唐津 Switch（以下唐津 Switch と呼称）の主な事業は唐津市から委託を受けている、①唐津市への移住を希望する人々へ情報提供を行う「移住コンシェルジュ事業」と、②市場へ流通していない移住用家屋を、所有者や物件相続予備群に啓発・相談等を行うことで市場に流通させることにより、移住希望者の住居の選択肢を広げ、市への移住促進を加速させる「唐津市移住促進加速化プロジェクト事業」そして③自主事業として運営中の「移住＆農業特化型シェアハウス根の家事業」の3つです。

私たちは令和3年3月に唐津市の「人口減少」から生じる問題に対して、移住支援を根幹に、同問題の解決を図る事業を行い、唐津市の活力ある発展に寄与することを目的とするNPOとして認可され、同年4月より理事9名、監事2名、合計11名で正式に稼働を開始しました。

まず、移住コンシェルジュ事業について。これから少子高齢化に向かう中、唐津をもっと活気あふれる魅力あるまちにするために、唐津の魅力を全国に発信しつつ、実際に移住を希望される方をサポートしていく活動である「移住コンシェルジュ事業」については、コロナ感染症問題の最中でありながら、年間の新規相談数が150組を超える264名のサポートを行いました。結果、唐津 Switch を使って実際に移住に至った方は36世帯72人となり、特定非営利活動法人 NetworkStation まつろ時代の移住事業と比較しても、最も多い実績となりました。これはスタッフの努力はもちろんの事、我々が想いを以て続けてきた移住を後押しする行動が芽吹き始めた結果ではないかと考察します。

また、年度途中より唐津市移住促進加速化プロジェクト事業を、唐津市より委託を受けて開始。まず2名を全国から公募し教育。次いで唐津市内で空き家を持ちながらもどうしたらいいかわからない人々の悩み解決のためのセミナーを2月13日に開催。このセミナーは株式会社LIFULと合同で実施しました。参加者は30名を越え、市民の皆様の空き家への関心の高さがわかる結果だったと思います。

事業の推進には佐賀県の空き家対策を説明した冊子（うちが空き家に）を使用することでコストを大幅に削減。また、唐津市役所内でも空き家対策室との連携を模索。ネットワークの確立を目指しました。

また、外部団体として司法書士会、佐賀県宅建協会唐津支部などとも連携を図れるように打ち合わせを重ねました。しかしこの分野に関しては未知の分野であるためか、互いの立場での見解の相違など課題を残す結果となりました。この点は次年度以降も互いの立場を鑑みながら連携を模索していくかなければならない課題だと捉えています。

次に、自主事業である移住＆農業特化型シェアハウス根の家事業ですが、今年は所有者の小才氏のご厚意により家賃引き下げを一時的に認めていただいた結果、部門のみでは収益を出すことができました。コロナ感染症問題が続いた令和3年度でしたが、唐津への移住を検討される方、就農を志される方などの利用者は順調に増え当初目的以上の成果を出せたことで、本体の運営費をある程度補填することができます。

きました。しかし、来年度以降は家賃も元に戻り、利益の悪化が予測されるために、さらなる活用方法を模索する必要があると考えます。

また、一般社団法人地域活性化センターの補助金を使って根の家の納屋部分を家族向けお試し移住に使える部屋に改修。これにより唐津への移住を検討される方の利便性が今まで以上に上がり、かつ、唐津 Switch の収益上乗せを図ることができるようになりました。来年度以降はこの家族向けお試し移住住宅を有意義に活用し、より多くの移住希望者をサポートしていきたいと考えます。

最後に。

私たち唐津 Switch はできたばかりのNPOです。まだ認知度も低く、日々の業務の中でそれを痛感することも少なくありません。しかし今私たちが行っている活動は、いざれはつきりと見えてくる「人口減少社会」において、市民が何を考え、何を成さねばならないのか?を考えるための橋頭堡となる活動であると私たちは考えます。

また、今後の運営に関しては、いち早く自立自走する仕組みの必要性があると感じています。昨今のコロナ感染症問題に始まり、DX・AI・IOT・RPAなど、社会は今までにない速度で変貌を遂げています。そんな中で人口減少問題という未曾有の課題にトライするためには、我々が機動性・独自性・持続性・柔軟性を備えた攻性の組織へと成長することが必要不可欠です。外部の資金に頼らず、自らの活動から得られた資金を以て活動に邁進できてこそ、それが実現できると確信します。

また、私たちは、唐津という町に育まれた「地域を愛する心」を正しく受け継ぎ進化させ、未来へと繋ぐために「当事者意識」をしっかりと持って活動する必要があります。会員がお互いを尊重し全員参加で共感・協働して活動していきます。また、常に地域に良い影響を発信できる、唐津には無くてはならない組織になれるよう、これからも会員一人ひとりが「一身独立して、一国独立す」の気概をもって勉強・研鑽を重ねていきたいと考えます。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:円)
人口減少に伴う地域 問題の解決	唐津市への移住相談対応（移住コンシェ ルジュ）事業の実施	(A)通年 (B)唐津市内 (C)11人	(D) (E)	5,709,336
	空き家利活用活性化（移住促進加速化プ ロジェクト）事業の実施	(A)通年 (B)唐津市内 (C)11人	(D) (E)	5,765,424
	農業特化型シェアハウス「根の家」運営 及び空き家対策事業の実施	(A)通年 (B)唐津市内 (C)11人	(D) (E)	1,616,972
	農業特化型シェアハウス「根の家」 新規シェアハウス整備事業の実施	(A)通年 (B)唐津市内 (C)11人	(D) (E)	2,250,927
	移住＆関係人口増加に係る情報配信事業 (能動的広報業務) の実施	(A)通年 (B)唐津市内 (C)11人	(D) (E)	1,154,780
	関係人口増加及び唐津移住コミュニティ 「唐津 Switch」等から派生するコミュニ ティのサポートの実施	(A)通年 (B)唐津市内 (C)11人	(D) (E)	0
その他、唐津 Switch の目的達成のために 必要な事業	移住講演会実施など移住・定住に関する 講演会などの各種啓蒙事業及び視察・内 覧受け入れ事業・受動的広報含む実施	(A)通年 (B)唐津市内 (C)11人	(D) (E)	0
	実施しなかった	(A) (B) (C)	(D) (E)	0

(2) その他の事業は、令和3年度は実施しなかった。